南砺市エコビレッジ構想

桜ヶ池アクションプラン

ECOTO
南砺市エコビレッジ構想

南　砺　市

■南砺市エコビレッジ構想　アクションプラン

1．なぜ今エコビレッジなのか

・エコビレッジとは、**「小さな循環」**。人と人、人と自然が、よく見とおせる地域の中で、みんなが一緒になって進める。地域に埋もれている自然の恵みやエネルギーを活かす。無駄をうまず、いのちが巡り、小さな稼ぎと働きを生む。景観や自然を守りながら、共にいきる喜びを実感できるような楽しい取り組み。

・南砺市民には当たり前のこのくらしこそが今の日本社会が抱えている様々な問題を解決する。

・小さな循環だから自分達で決めて（自律）、自分達で立てる（自立）。ご先祖様から受け継いだことを未来の子ども達に渡していく、土徳の里の世代を超えた物語。

2．南砺が目指すエコビレッジとは

・グローバルマネーに振り回されず、これからも南砺市が自立し持続循環できる仕組みを作るための行動計画。

→なにかに依存していると、その元（お金、人材、権利等）が無くなった瞬間に持続しなくなってしまう。
→関わる各々が主体的に担う行動自体を積み重ねた行動計画（アクションプラン）であり、その関わる意志や仕組みそのものがアクションプラン。

3．そのための進め方

①一人一人が主体的に関わって、顔の見える関係で実施していく最小公倍数的な施策展開を目指す。この「主体的に関わる」仕組みこそ、地域の自立持続・循環の肝。

②桜ヶ池を先導的モデルエリアとして展開、それをテコに南砺市内で次々と自発的な芽を見い出し、育てていく。

4．先行的に進めるPJ抽出の視座

地域からの視点
南砺の日常。楽しいこと。嬉しいこと。気づいたこと。格好いいと思うこと。憧れること。大事にしたいこと。嫌なこと。

南砺のいいところはどこ？

地球の視点
大事な環境。大事な自然。大事な循環。大事な文化。地球の視点で考える、南砺の残すべきところ。良いところ。人が生きていくために必要な顔の見える関係とコミュニティ。

地球の視点で考え、自ら行動する。

5．アイデアやプランの情報収集

これまでの市民とのアイデアやプランについての意見交換。

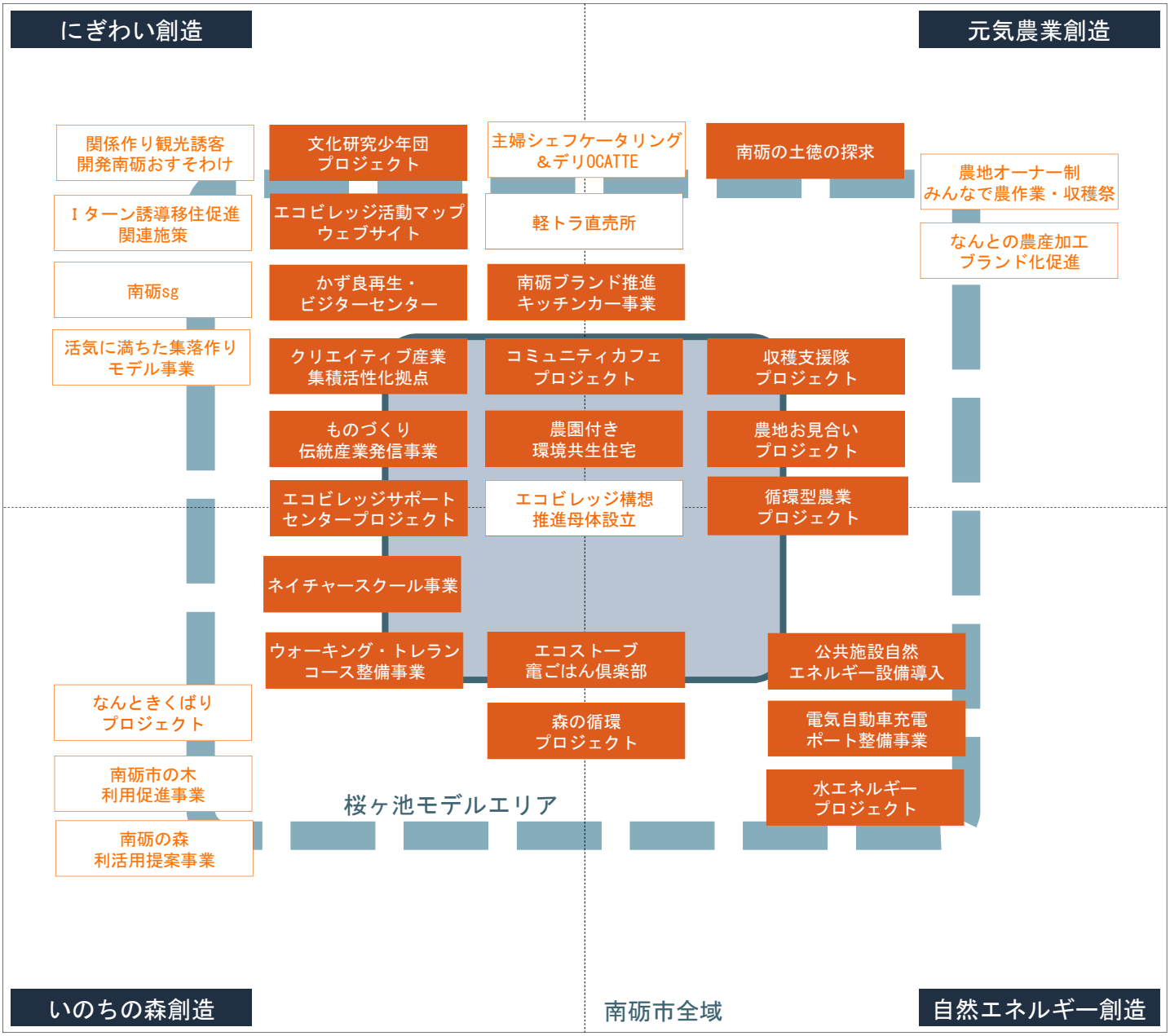
○説明会での意見交換
- 城端の明日を考える会
- 南山田自治振興会
- 東太美自治振興会
- 福野中学校３年生
- 砺波地区３農協営農指導員会
- 環境保健協議会
- 高瀬西婦人会

○ワークショップ・意見交換会
- エコビレッジ志民会議
- 七地区会
- 南山田連合婦人会
- ＣＧＬ研修（第１回、第２回）

○講演会・アンケート
- エコビレッジフォーラム
- 畠山重篤氏「森は海の恋人」
- 藻谷浩介氏「里山資本主義」
- 山田シンポジウム　　など

主体性が明確な市民による事業を基本に、左記の観点で事業を抽出

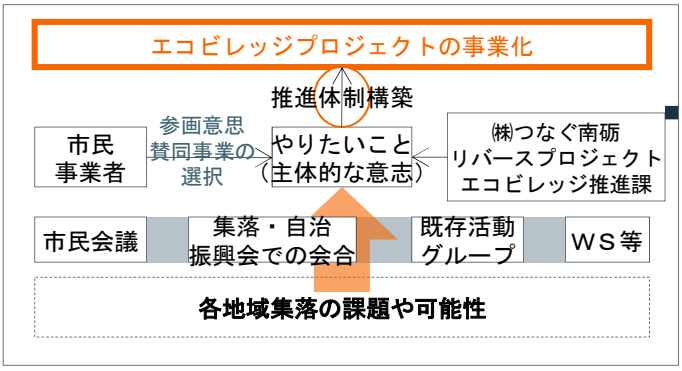
6．南砺市エコビレッジアクションプランプロジェクトマップ（短期１～３年で実施する事業）



市民主体の仕組みにより上記アクションプランも次々と書き換えていく

新規エコビレッジ事業　既存関連事業

7．市民が進めるエコビレッジ事業基本フレーム



意識
目標設定

8．指標と到達目標・効果の想定

市民や上記事業の担い手が常に意識し、地域内であらゆる資源が持続循環していくことを意識づける。

地域内エネルギー自給率	域内観光来訪者数
地場野菜販売売り場面積	自治振興会地域活動頻度
Ｕターン Ｉターン人口比	お父さんの地元呑み割合
エコストーブ普及台数	地元商店利用率
薪利用浸透率	三世代世帯率

短期実施（1～3年）プロジェクト概要一覧 （1）

新規事業　既存事業

ゾーン	事業名		事業内容
にぎわい創造	南砺ブランド推進キッチンカー事業		・キッチンカーによる情報発信。 ・地域の食材を使った食事の提供。 ・特産加工品の販売。 ・市内外イベントでの食を通しての情報発信と交流。
	主婦シェフケータリング＆デリocatte		・南砺の料理自慢の主婦シェフ達による南砺料理を初めとしたケータリング事業。 ・東京などでのイベント出店。
	コミュニティカフェプロジェクト	パンを片手にのんびりプロジェクト	・地域の良質な食材を手軽に味わえるパン工房。 ・桜ヶ池の自然を楽しめるランチスペースの提供。
		コミュニティレストラン	・地域の普段着の食事が味わえる食堂。 ・地域文化を再認識する文化継承の役割も。 ・地域のコミュニティの拠点としても機能。
		まちづくり介護システム三世代コミュニティプロジェクト	・公民館の地域交流機能を強化。 ・高齢者、団塊世代から孫世代への文化伝承と交流促進。 ・高齢者サロンと子育てサロンの共同実施。
	エコビレッジサポートセンタープロジェクト		・エコビレッジ構想を推進する様々な活動を支援し、情報交換を行う交流拠点の整備。
	かず良再生		・資料価値の高い「かず良」を市の貴重な財産として見直し、南砺の暮らしが体験できる文化交流の拠点として活用する。
	ものづくり伝統産業発信事業		・ハイウェイオアシスの立地環境を活かし、南砺のものづくり産業の情報発信拠点振興を図る。
	クリエイティブ産業集積活性化拠点		・デザインやアニメ等のクリエーターを集積し、情報交換と事業創出を活性化する。新たな産業観光も実施。
	関係づくり観光誘客プロジェクト・開発南砺おすそわけ		・従来の観光のような、一度きりの関係ではなく、南砺に来ていただくことをきっかけに、人と人との関係を作っていくプロジェクト。
	iターン誘導移住促進関連施策		・南砺市の自然環境の良い場所にある空き家住居などを活用した、安価で移住を促進するプログラム。同時に移住しやすくなるようなイベントなど周辺住民との関係づくりをサポート。
	南砺sg		・南砺良品計画を発端として、南砺市の自治体運営型通信販売サービス「南砺sg（南砺エスジー）」。南砺市の 特産品、地域の隠れた銘品を厳選し販売。
	文化研究少年団プロジェクト		・ワークショップ形式による子供たちへの地域文化の伝承プログラムの実施。 ・地域の文化を自らで探し、自ら学ぶ場をつくる。 ・地域の誰もが教える側であり、教えられる側でもある。
元気農業創造	循環型農業プロジェクト		・様々な環境配慮型の農業を推進し、自然な環境と健全な体を保全する。 ・CO2農業＝バイオマス資源を活用したCO2農業。 ・発酵熱を利用したハウス農業。 ・無農薬、無肥料の健康で安全安心な農産物の提供。 ・食品くずを堆肥にし、ごみのない食と農業の実施。
	軽トラ直売所		・家庭菜園の余っている野菜を軽トラに積んで、そのまま販売。温もり伝わる直売市。
	収穫支援隊プロジェクト		・人出不足により、せっかく育ったのに収穫されない野菜の収穫を支援するネットワークを整備。
	農地お見合いプロジェクト		・未耕作地を耕作希望者に紹介し、農地の環境改善を進める仲介ネットワークの整備。
	農地オーナー制みんなで農業収穫祭		・世界遺産五箇山合掌造り集落を見渡せる農地などで、貸し農園と収穫祭を実施。
	なんとの農産加工ブランド化推進		・南砺で収穫された農産品を地域独自の文化として加工、ブランド力を付けて発信する。
	南砺の土徳の探求プロジェクト		南砺の歴史とこれからを、気候や農、食、信仰、建築、芸能など多面的、総合的な研究を行い、価値の見つめ直すきっかけとする。

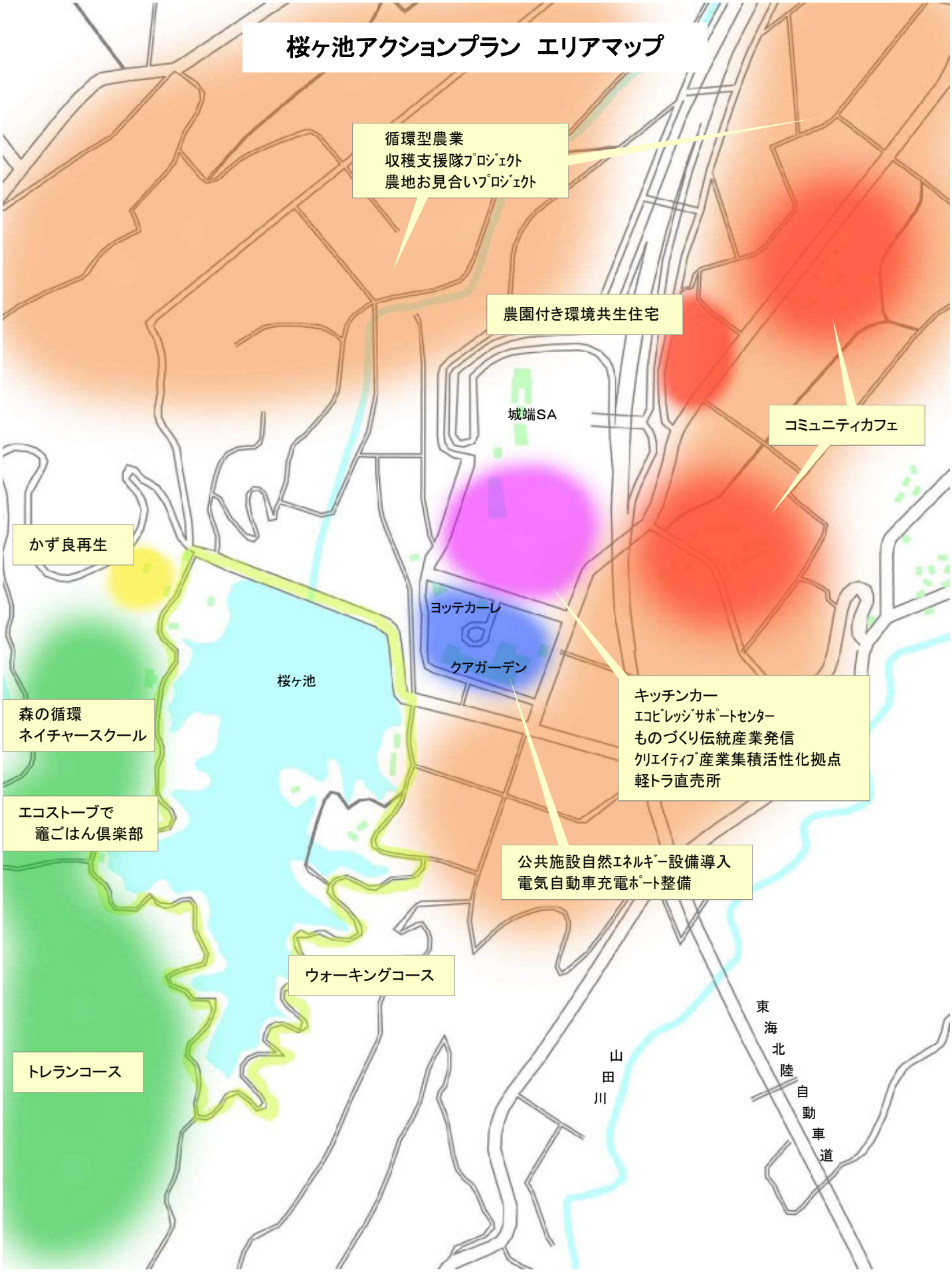
短期実施（1～3年）プロジェクト概要一覧 （2）

新規事業　既存事業

ゾーン	事業名		事業内容
自然エネルギー創造	森の循環プロジェクト	薪の駅プロジェクト	・南砺の木の活用し、森をきれいにしながらエネルギーの自立度を高めるプロジェクト。 ・薪の駅との連携。 ・自然学校との連携。
		木質バイオマス普及プロジェクト	・木質バイオマスを利用したボイラーやストーブなどの導入。 ・薪の駅などの小規模集積基地の整備。 ・桜ヶ池自然学校（仮）での環境教育プログラムの実施。 ・資源循環型住宅の導入と南砺木材の利用。
	エコストーブ竈ごはん倶楽部		・楽しくエコなくらしを体験しよう。みんなでワイワイエコストーブを活用して美味しい竈ご飯で集まろう。
	水エネルギープロジェクト		・身近な水エネルギーを使って水力発電。豊富な水と水路網を活用して小さな電源を確保。
	公共施設自然エネルギー設備導入		・公共施設への自立した再生可能エネルギー設備を導入。 ・化石燃料消費の削減と温暖化の抑制。 ・自立分散型のエネルギーを確保し、災害に強い拠点施設の確保。 ・低炭素自然共生社会のモデル施設の整備。
	電気自動車充電ポート整備事業		・温暖化ガスを出さない電気自動車の充電設備を整備。
	農園付き環境共生住宅		・自然の力を利用した資源循環型の住宅を整備。家庭菜園と地域ネットワークで食料も自給。
	市内エコビレッジ活動マップウェブサイト		・エコビレッジHPの開設。 ・どこで、いつ、どんなことが行われているかがわかることで、参加がし易く、新たな活動や連携が生まれやすい仕組みを作る。
いのちの森創造	ネイチャースクール事業		・桜が池周辺の森林資源を活用し、自然学校を実施。こどもからおとなまで楽しく関わるネイチャースクール。
	ウォーキング・トレランコース整備事業		・桜ヶ池周回道路を活用したランニング＆ウォーキングコースの整備。 ・周辺の森林を使ったトレイルランニングコースの整備。
	南砺の森利活用提案事業		・森林の魅力を発見し、森林源を利活用する積極的な計画の一般募集を行い、市民による南砺市の元気な森づくりの推進を図る。
	南砺市の木利用促進事業		・南砺市産木材の住宅への利用を促進し、優良な木造住宅の建設を図るため、市内において木造住宅などを新築・増改築する場合に、南砺市産木材を使用する 者に対し、補助金を交付。
	活気に満ちた集落づくりモデル事業		・集落が実施する主体的なコミュニティ共同事業の企画提案を集落から募集、事業費を助成する。
	なんときくばりプロジェクト事業		・南砺の木材をとことん生かすためのわりばし製造。

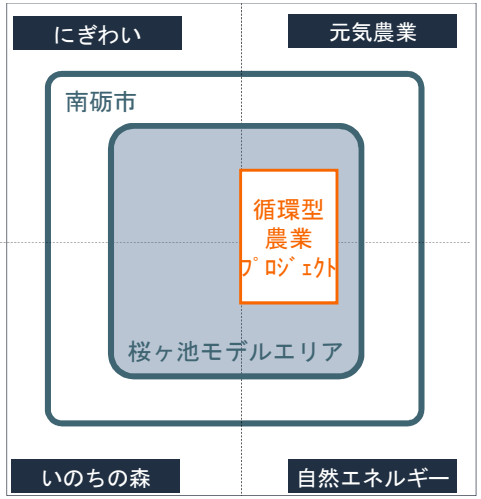
桜ヶ池周辺地域

自遊の森
かず良
桜ヶ池
桜ヶ池クアガーデン
直売所
ヨッテカーレ
ｸﾘｴｰﾀｰﾌﾟﾗｻﾞ建設予定地
城端SA
東海北陸自動車道


桜ヶ池アクションプラン　エリアマップ
循環型農業
収穫支援隊ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ
農地お見合いﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ
農園付き環境共生住宅
城端SA
コミュニティカフェ
かず良再生
ヨッテカーレ
クアガーデン
桜ヶ池
キッチンカー
ｴｺﾋﾞﾚｯｼﾞｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ
ものづくり伝統産業発信
ｸﾘｴｲﾃｨﾌﾞ産業集積活性化拠点
軽トラ直売所
森の循環
ネイチャースクール
エコストーブで
竈ごはん倶楽部
公共施設自然ｴﾈﾙｷﾞｰ設備導入
電気自動車充電ﾎﾟｰﾄ整備
ウォーキングコース
トレランコース
山田川
東海北陸自動車道

■南砺エコビレッジリーディングプロジェクト１　循環型農業プロジェクト

プロジェクトマップ



事業概要

●環境に配慮した様々な循環型農業を実施

●調理くず等の堆肥化

●バイオマス発酵熱を利用した温室栽培

事業効果

●食の安全安心の提供

●廃棄物の資源化による環境保全とコスト削減

●化石燃料使用量削減による温暖化抑制

- 南砺市エコビレッジ構想にある元気農業の実現を目指し、市内の木質バイオマス資源を活用した農業の実証と発酵熱利用によるハウス農業に取り組みます。
- 無農薬、無肥料の地球適合型の新しい農業を目指します。安全安心で健康な農産物の生産を行うことで、エコビレッジ農業の実現を図ります。
- その一方で、給食残渣など調理くずを活用した堆肥循環型農業事業を実施し、地域全体で様々な可能性のある循環型農業を展開していきます。
- まちなかに住む人のための貸し農園事業によって、まちと農業をつなぐ取り組みを行います。

事業内容	市内の木質バイオマスの発酵熱と成長促進ガスを利用したハウス栽培及び野菜くず等を利用した堆肥による循環型農業
到達目標	エコビレッジ構想のモデルとなる、農と食の循環を創出する

＜事業取り組みイメージ（事例など）＞

（１）市内木質バークの発酵熱と排出されるＣＯ２を利用したハウス栽培

桜ヶ池周辺の農地を活用し、ビニールハウス棟、バーク発酵置き場を設置。
発酵熱と発生するＣＯ２等のガスを活用した無農薬・無肥料の炭素循環農業を実施。
冬期の栽培が可能で、発生するガスは成長促進効果があるため、無農薬、無肥料による栽培が可能。

（２）野菜くずを活用した堆肥政策と循環型農業の実施

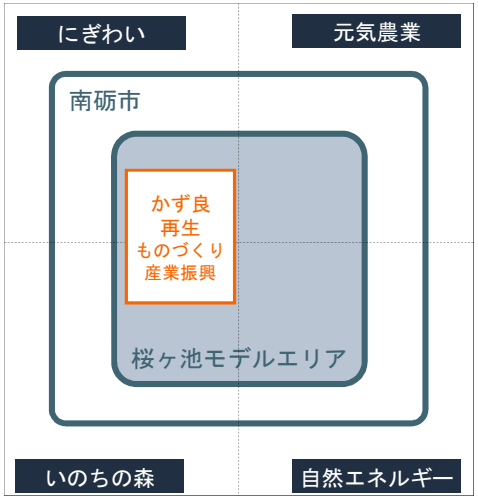
●市内の学校や福祉施設、家庭等と連係し、野菜くずを利用した高品質で地球環境調和型の堆肥を生産。

●この堆肥を活用した循環型農業を実施。

●これに並行してまちなかの人向けに貸し農園事業や地域外からの受入も検討し、マンパワーが慢性的に不足する地域農業の担い手の拡大を図る。

■南砺エコビレッジリーディングプロジェクト２　かず良再生・ものづくり伝統産業・クリエイター集積プロジェクト

プロジェクトマップ



事業概要

●「かず良」の再生と南砺の暮らし体験拠点の整備。

●人と情報が集まるビジターセンターの整備。

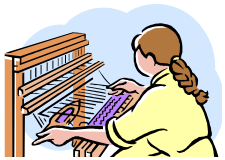
●ハイウェイオアシスの立地環境を活かし、南砺のものづくり産業の情報発信拠点振興を図る。

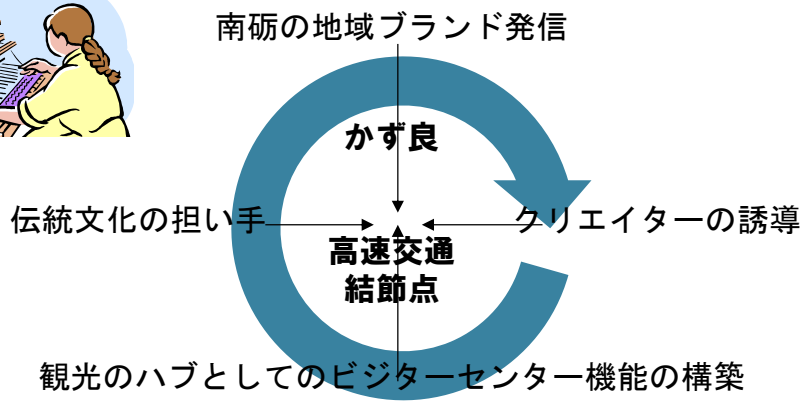
事業効果

●歴史財産の伝承

●伝統産業の新しい価値の創造

●集積と交流による産業活性化





●資料価値の高い「かず良」を市の貴重な財産として見直し、南砺の暮らしが体験できる文化交流の拠点として活用します。

●情報発信機能の強化として、ハイウェイオアシス内にビジター機能を整備します。

●ハイウェイオアシスの立地環境を活かし、南砺のものづくり産業の情報発信拠点振興を図ります。

事業内容	かず良の再生とものづくり伝統産業・クリエイティブ産業振興
到達目標	南砺の内発型産業創出、南砺ブランド商品の確立

＜事業取り組みイメージ＞

かず良再生

●文化財としての再構築
- 資料収集保存
- 茅葺き屋根の再生
- 合掌建築の再生

●南砺の暮らし体験プログラム
- 暮らしの技体験
- 郷土料理の提供

南砺文化の保存と振興

ものづくり産業振興

●ものづくり産業集積施設整備
- 南砺ブランドの発信
- 桜ヶ池ブランドの発信
- コワーキングの推進など

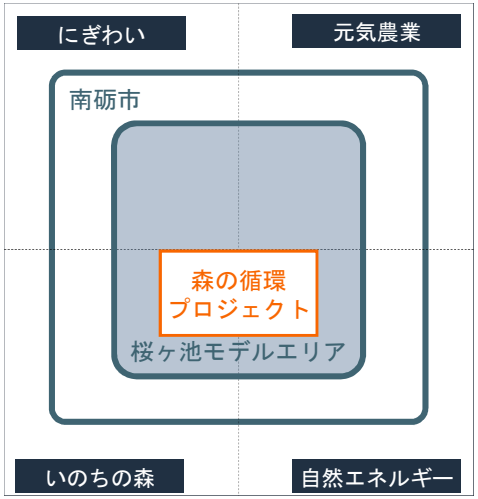
●ビジターセンター機能整備
- 情報発信機能の強化
- 観光のハブとしての役割

（仮称）かず良サポーターズ倶楽部（市民ファンド）

市民参画による
かず良再生

■南砺エコビレッジリーディングプロジェクト３　森の循環プロジェクト

プロジェクトマップ



事業概要

●木質バイオマスを利用したボイラーやストーブなどの導入。

●薪の駅などの小規模集積基地の整備。

●桜ヶ池自然学校（仮）での環境教育プログラムの実施。

●資源循環型住宅の導入と南砺木材の利用。

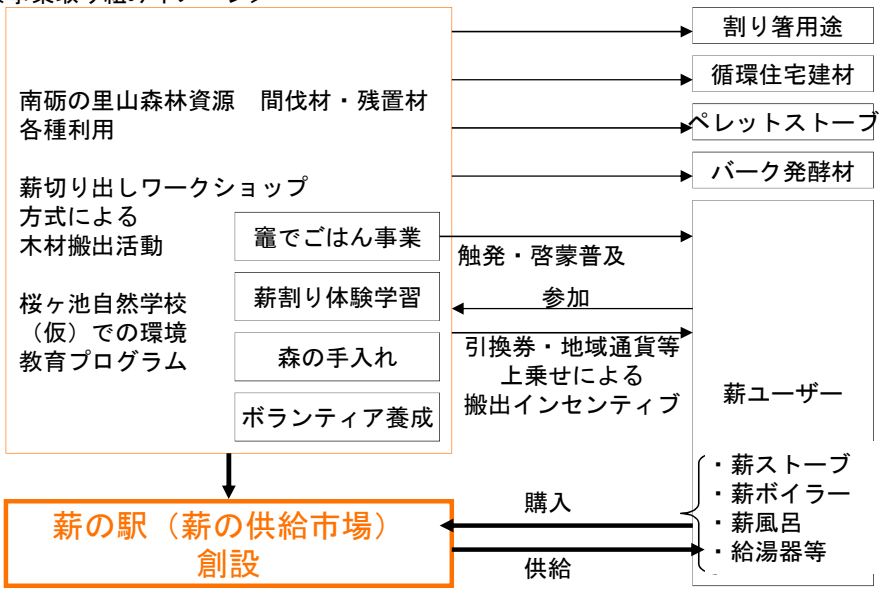
事業効果

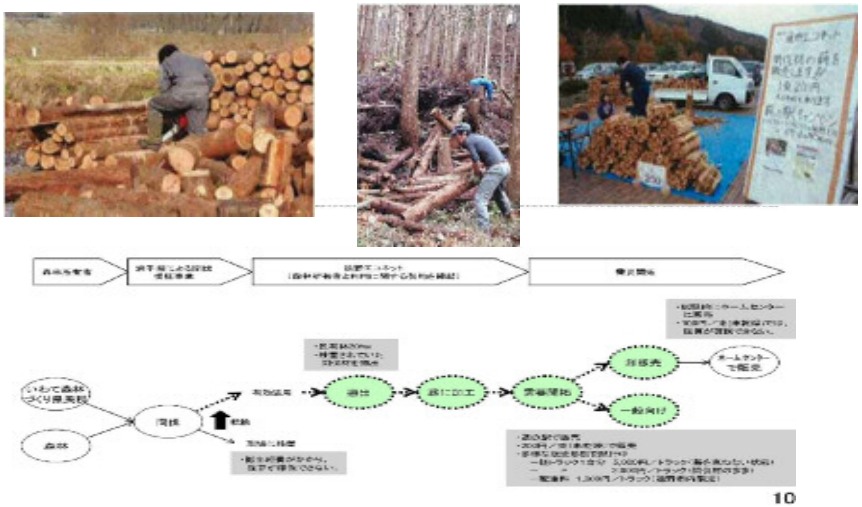
●化石燃料使用量削減による温暖化抑制

●森林環境が改善し、森林生物の保全や災害予防に効果

事業内容	森の循環プロジェクト
到達目標	南砺の森林資源の循環環境の創出

＜事業取り組みイメージ＞

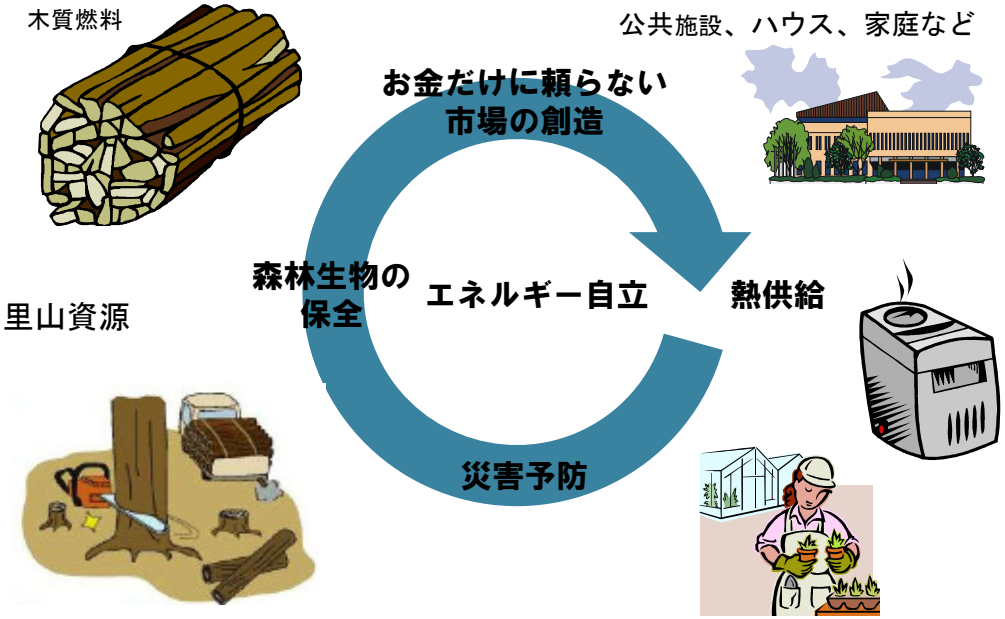




ＮＰＯ法人遠野エコネット事例東北通産局資料

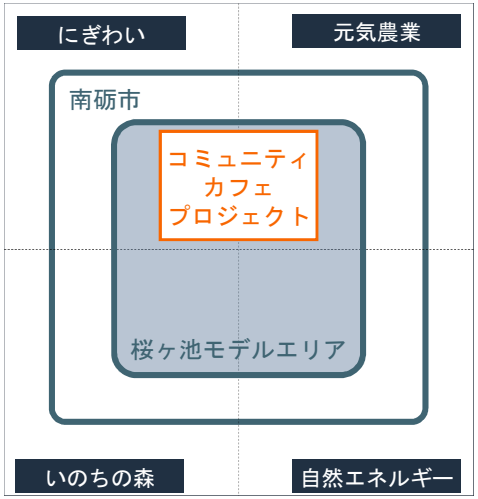
●　森と暮らしを結び、間伐材など森の資源を活かし、地域で循環する仕組みを構築します。

●　木質バイオマスボイラーなどにより薪ストーブや薪風呂、炭焼きなど薪のある暮らしを見直し、薪の切り出しや搬出、暮らしの知恵講座などのアクティビティ展開し、薪の市場を構築します。



■南砺エコビレッジリーディングプロジェクト４　コミュニティカフェプロジェクト

プロジェクトマップ

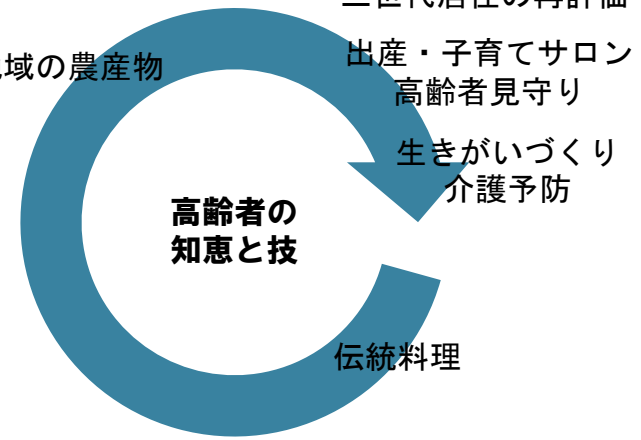


事業概要

●地域の良質な食材の提供
●普段の伝統食の提供
●地域の豊かで美しい景観の再認識と発信、提供
●地域情報の受信・交換・発信機能
●地域の集いの場の形成
●福祉施設障がい者と一緒に作る野菜利用
●時間の質の高い地産地消レストラン
●地元産材を活用した地元パン作り

事業効果

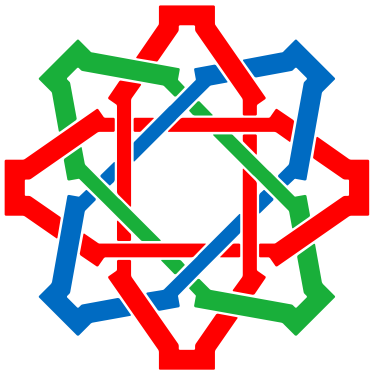
●小規模農地などの少量高品質生産にも対応
●生きがいづくりで介護予防
●地域コミュニティの拠点としても機能
●世代間の交流が活性化し、文化の継承が成される
●高齢者の見守りや子育て・介護情報の交換の場



事業内容	高齢者の予防医療・介護と地域の知恵と技の継承、三世代居住促進
到達目標	地域全体の高齢者から子どもまでが、さながら一つの家のように支え合って生きていく地域を目指す。

＜事業取り組みイメージ＞

- 高齢者の痴呆予防、健康増進に繋がるように、高齢者の知恵と技を、こどもたちやお嫁さん、来訪者に伝えます。
- こどもたちには暮らしの知恵や遊び、地域で生きる意味や人生観を伝える講師となり、公民館等を使って学童保育に参加します。
- 南砺のお嫁さんが安心して子どもを産めるように、サロンを創設してそこで様々な知恵や技を伝えていきます。また、地域全体で見守る関係性を構築します。
- 来訪者には地元資源を使って伝統料理や加工品をつくる技を発揮し、地域の価値を伝えます。
- そのサービスの対価を地域通貨あるいは引換券（地域の温泉やサウナの利用、薪の利用など）を発行して地域の思いの循環を進めます。



ECOTO

南砺市エコビレッジ構想